

# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.347

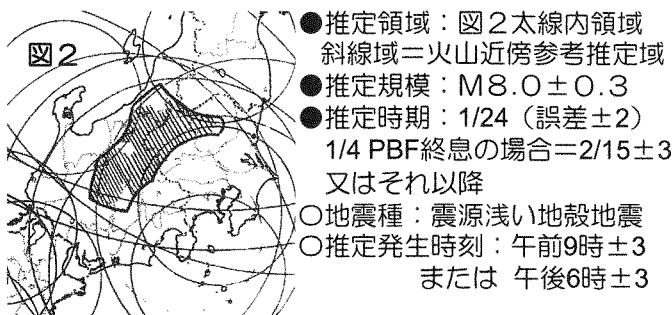
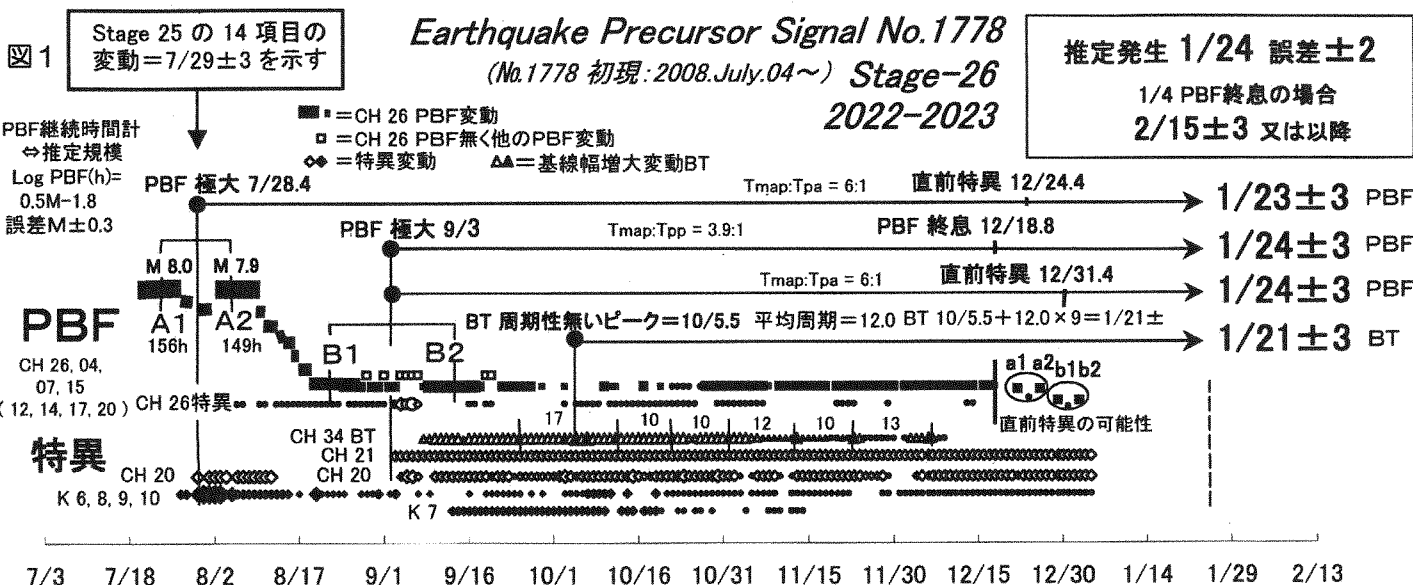
2023.01/04 (水曜) 14:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 串田 〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 電話 0551-38-3987 FAX 0551-38-4254

※PHP新書「地震予報」にNo.1778前兆について記したため続報公開。No.1778前兆は27年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動。しかし首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までは数日の可能性が高い。火山噴火も検知可能。これらのNo.1778前兆以外の他の地震前兆については本HPでは公開できません。E-mailまたはFAXで配信の観測情報でのみ公開しています。本観測をご支援下さる方に前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。

### 2つのPBF ツイン極大に対し 2つのPBF ツイン直前特異 出現認識 但し特異変動終息せず

- ①特異変動は発生まで継続か？      ②1/4 PBF終息の場合 1/19±特異終息か？
- ①の場合=1/24±2 発生の可能性      ②の場合=2/15±3 発生の可能性



12/22.7 と 12/26.1 にツインPBF出現 中心=12/24.4  
 2022.7/28.4 PBF極大に対する直前特異の場合=1/23±3発生  
 12/29.5 と 01/02.2 にツインPBF出現 中心=12/31.4  
 2022.9/3 PBF極大に対する直前特異の場合=1/24±3発生  
 上記のとおり、2回のツイン極大に対し2回のツイン直前特異認識のPBFが観測されました。この認識が正しい場合には、1/24 (±2) 対応地震発生の可能性が示唆されます。

#### 特異変動が終息しない理由について考える

特異変動が終息しません。今回の特異は2022.9/3のPBF極大から継続出現しています。極大から継続出現する変動としては過去例ではBT-2で、CH34のBTは既に終息しています。特異変動は9/3以来、現在まで極大認識もできません。このような変動は28年の観測歴上皆無で、初めて体験する現象です。No.1778は異例ずくめの特殊形態前兆変動です。特異が終息しない理由について2つ考えてみました。

①ひとつは、先行特異の逆パターンで、極大から地震発生まで継続し、発生前に特異変動は終息しないと云う過去例の無い初めて体験する現象の可能性。この場合はあくまでも1/24±2 対応地震発生の可能性が考えられます。

②もうひとつは、直前特異認識のPBFが、直前特異ではなく未だPBF変動出現期間であった可能性。この場合は仮に1/4 PBF終息の場合、特異は1/19±に終息の可能性となります (PBFが再出現の場合はそれ以降)。その場合は2/15±3又はそれ以降発生の可能性となります。PBFが再出現しないか、特異が1/19±2に終息するか等、変化を見ます。PBF再出現なく、1/19±特異継続の場合は1/24±2 対応地震発生の可能性が高い見解となります。続報予定。

※推定内容根拠はNo337を参照下さい